

約4倍、PSWで約6倍の違いがあり、日本の中央部の都道府県が少なく、周辺部の都道府県が多かった。精神科診療所は全国に2,774施設あり、人口10万対の精神科診療所数の全国値は2.18、都道府県間では最大でおよそ4倍の違いがあった。人口10万対の精神科診療所数が多い都道府県は西日本に多く、特に近畿から中国地方に多い。精神科診療所の一カ月間の外来患者延べ数は全国で2,294,152名であり、その中央値は670.0名であった。一日あたりでは114,808名（一施設あたり平均41.4名、標準偏差66.6名）の外来受診者があり、その8割近くが主たる病名が精神保健福祉法第5条に定められた「精神障害者」に該当する者であった。

8. 認知症患者に対する精神科医療のあり方に関する研究（分担研究者 浅野弘毅）

18年度：平成13年度および平成17年度における活動状況を比較すると、設立主体、画像診断機器の設置の有無、精神科救急医療システム整備事業への参加状況、について、両年で大きな変化はなかったが、スタッフ配置については、配置していない割合がわずかに減少している傾向があった。電話相談件数と鑑別診断件数はやや増加傾向にあった。外来実数と外来延べ数は大幅に増加していた。老人性認知症疾患センターを設置している病院は、スタッフ数や病床数が多く、また、医療保護入院を必要とする認知症患

者の数が多いことから、認知症の精神科医療の窓口および専門治療の実施に重要な役割を果たしていると考えられた。

今後は、地域包括支援センターに対応した、鑑別診断、適正な医療の実施、介護保険サービスへの移行を促す仕組みを精神科医療自体に整備すべきと考えられる。

2) 調査日に救急医療施設を受診した65歳以上の高齢者は1,004名であった。平均年齢は78.3歳、性別では男性が493名（49.1%）、女性が510名（50.8%）であった。救急医療施設において認知症ありと診断された者は124名（12.4%）に上り、認知症が疑われた者は91名（9.1%）であった。そのうち、老人性認知症疾患センターとの連携が図られた者は7名にすぎず、自院のセンターが2名、他院のセンターが5名であった。老人性認知症疾患センターを併設している病院の救急医療施設において、認知症ありと診断された者は8名（8.8%）で、そのうち、自院の老人性認知症疾患センターとの連携が図られた者は2名にすぎなかった。自院のセンターであるか他院のセンターであるかを問わず、救急医療施設と老人性認知症疾患センターとの連携が十分に行なわれていない現状が明らかになった。

9. 精神保健福祉法入院における認知症・知的障害等の同意能力に関する研究（分担研究者 樹神 學、長尾卓夫）

19年度：任意入院の割合は医療機関によって大きなばらつきがあった。任意入院については「自書だけでなく、入院と

いう状況を正しく理解できている」が適切とする審査員が最も多かった。倫理委員会などの設置が求められた。寝たきり状態では70%以上の医療機関が退院を目標として活動していた。認知症高齢者の入院形態については、「自書だけでなく、入院という状況を正しく理解できている」に基づいて判定できるように提言が必要であると考えられた。研究会では精神医療審査会の運営の重要性を指摘できた。

20年度：アンケート調査の結果では、認知症高齢者並びに知的障害者の任意入院の基準として、入院同意書に「自書できるだけでなく、自らが入院するという状況を正しく認識している」ことが必要であるという意見が多数を占めた。また、これらの人達は処遇改善や退院請求の手続きができないために、病院内に外部委員を含む倫理委員会等を置く必要があるとの意見が多かった。認知症の精神科病床への入院では、認知症状だけでなく、精神症状や・行動障害を伴うことが必要であるが、現状では長期入院にならざるを得ない状況があり、施策的な対応が求められる。また、今後、成年後見制度を中心とした「法定代理人」が必要であるとの意見も多かった。

10. 精神科デイ・ケア等の医療機能に関する研究(分担研究者 須藤 浩一郎)

19年度：調査すべき項目の検討を行い、調査票を作成した。本調査は、現在実施中であり、現段階で分析可能なデータが

得られていない。本調査のデータが得られ次第、全国の精神科病院および精神科診療所における精神科デイ・ケア等の実施状況およびその内容の状況、また、利用者の状況について分析、検討し報告する。

20年度：精神科デイ・ケア等を実施していると確認できた精神科病院（以下、病院とする）計953カ所および精神科診療所（以下、診療所とする）254カ所を対象に質問紙調査を実施した。回収率は全体で43.9%であった。本研究の回収率は、この種の調査としては比較的高く、またこれまでわが国における精神科デイ・ケア等の全体像について詳細に把握する調査はほとんど実施されておらず、本調査は基礎的な資料として重要なものである。実施プログラムの種別においては、疾患別プログラムについては、すべての選択肢について病院より診療所のほうが高く、気分障害圏や不安障害圏、摂食障害、発達障害といった多様な疾患に対応したプログラムを実施していた。また診療所では病院と比べて児童期・思春期・青年前期の患者を対象とするプログラムの実施率が高かった。一方、病院の精神科デイ・ケア等では、長期入院をしていた慢性期の患者の再発・再入院予防を目的とした、日常生活継続支援が主に提供されていた。すなわち、病院の精神科デイ・ケア等では、慢性期患者の再発・再入院予防や、疾患及び長期入院にともなう生活のしづらさに焦点を当てた支援が行われることが多いのに対し、診療所

の精神科デイ・ケア等では、統合失調症の長期治療を継続している患者への支援だけではなく、発症後間もない多様な患者への支援が取り組まれていると考えられる。今後、精神科デイ・ケアの類型ごとに、精神科デイ・ケアの効果の客観的評価を行う必要があると考えられた。

D. 結論

「精神保健医療福祉の改革ビジョン」に示された達成目標の進捗状況のモニタリング調査を行い、「入院中心から地域生活中心へ」という基本的な方策の実現に寄与することを目的として3年間で10のテーマで分担研究を行った。本研究の成果を第一期（前半5年間）の評価、第二期（後半5年間）における施策群の検討に役立てることが期待される。

E 健康危険情報 なし

F 研究発表

1. 論文発表

- 1) 竹島正：精神保健福祉施策の展開。日本精神保健福祉士養成校協会編：精神科リハビリテーション学。中央法規出版，276-281，2006。
- 2) 竹島正，長沼洋一，立森久照，八木奈央：第7章精神保健学。岡上和雄，京極宣，高橋一，寺谷隆子編：精神保健福祉士の基礎知識。中央法規出版，東京，pp197-229，2006。
- 3) 立森久照，竹島正：精神障害者の数的動向。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp160-161，2006。
- 4) 立森久照，竹島正：精神病床の推移。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp162，2006。
- 5) 長沼洋一，竹島正：精神科医療施設の状況。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp163-164，2006。
- 6) 長沼洋一，竹島正：精神病床の機能分化。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp166，2006。
- 7) 小山智典，竹島正：在院患者の状況。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp165，2006。
- 8) 小山智典，竹島正：地域間格差。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp167，2006。
- 9) 勝又陽太郎，竹島正：自殺対策基本法。精神保健福祉白書編集委員会編：精神保健福祉白書2007年版：障害者自立支援法—混迷の中の船出。中央法規出版，東京，pp28-29，2006。
- 10) 竹島正，三宅由子，立森久照，小山

- 明日香:精神保健に関する計画の調査及び研究. 監修:財団法人精神・神経科学振興財団, 編集:久野貞子, 樋口輝彦:こころの健康科学研究の現状と課題, 東京, pp95-104, 2007.
- 11) 立森久照, 竹島正: WHO-5. 樋口輝彦, 神庭重信, 染矢俊幸, 宮岡等編: KEYWORD 精神第4版. 先端医学社, 東京, pp94-95, 2007.
- 12) 長沼洋一, 竹島正: 精神病床の機能分化. 精神保健福祉白書2008年版 多様化するメンタルヘルスと2年目を迎える障害者自立支援法, 精神保健福祉白書編集委員会編: 中央法規出版, 東京, pp156, 2007
- 13) 立森久照, 竹島正: 精神障害者の数的動向. 精神保健福祉白書 2008 年版. 中央法規出版, 東京, pp150-151, 2008.
- 14) 立森久照, 竹島正: 精神病床の推移. 精神保健福祉白書 2008 年版. 中央法規出版, 東京, pp152, 2008.
- 15) 長沼洋一, 竹島正: 精神科医療施設の状況. 精神保健福祉白書編集委員会編: 精神保健福祉白書 2009 年版 地域移行・地域生活支援はどう進むのか. 中央法規出版, 東京, pp137-138, 2008.
- 16) 長沼洋一, 竹島正: 精神病床の機能分化. 精神保健福祉白書編集委員会編: 精神保健福祉白書 2009 年版 地域移行・地域生活支援はどう進むのか. 中央法規出版, 東京, pp140, 2008.
- 17) 小山明日香, 竹島正: 在院患者の状況. 精神保健福祉白書 2008 年版. 中央法規出版, pp155, 2008.
- 18) 小山明日香, 竹島正: 地域間格差. 精神保健福祉白書 2008 年版. 中央法規出版, pp157, 2008.
- 19) 竹島正, 長沼洋一: 精神保健福祉施策の展開 新たなシステムづくりの時代—精神保健医療福祉の改革ビジョンと障害者自立. 日本精神保健福祉士養成校協会編: 精神科リハビリテーション学. 中央法規出版, 東京, pp282-287, 2009.
- 20) 竹島正, 長沼洋一: 数値から見た精神科デイケア. デイケア実践研究, 日本デイケア学会誌 9: 81-87, 2006.
- 21) 竹島正: 精神科デイケア—今日的課題と将来像—. 精神神経学雑誌 108: 1295-1300, 2006.
- 22) 竹島正: 自立支援と居住施設. 日精協誌 26: 203-207, 2007.
- 23) 竹島正: 障害福祉計画と改革ビジョン, 障害者計画. 精リハ誌 11(2): 138-141, 2007.
- 24) 竹島正: 精神科医療はどのように変わるか—精神保健医療福祉の改革ビジョンと障害者自立支援法—. 日本社会精神医学会雑誌 16: 193-198, 2007.
- 25) 竹島正: 社会的入院と言われている人, 自立支援法の対象となる人, その他で支援が必要な人. NPO メンタルケア協議会第10回シンポジウム報告書, pp7-28, 2007.
- 26) 長沼洋一, 竹島正, 立森久照: デイケア・訪問看護を実施している精神科病

- 院の特徴, 日本精神科病院協会雑誌 26: 70-76, 2007.
- 27) 竹島正, 立森久照: ころの問題と数字-社会でいかに役立てるか, ころの科学 139: 114-119, 2008.
- 28) 竹島正, 加我牧子, 今田寛睦: 政策立案を担う. 精神科 13(2): 117-122, 2008.
- 29) 竹島正, 小山明日香, 河野稔明, 長沼洋一, 立森久照: 地域精神医療における ACT の位置づけ. 精神医学 50(12): 1187-1193, 2008.
- 30) 長沼洋一, 立森久照, 小山明日香, 竹島正: 精神科病院における精神科デイケア等の実施状況と患者の退院状況との関連. 日本社会精神医学会雑誌 17: 3-10, 2008.
- 31) 長沼洋一, 立森久照, 小山明日香, 竹島正: 「精神保健医療福祉の改革ビジョン」に関する情報のウェブサイトを用いた公開の試み. 精神医学 50(11): 1113-1118, 2008.
- 32) 小山明日香, 小山智典, 立森久照, 野田寿恵, 竹島正: 各都道府県の1年未満在院患者群の退院に関する指標「平均残存率」に関連する要因の検討. 日本社会精神医学会雑誌 17: 159-167, 2008.
- 33) 竹島正, 立森久照, 長沼洋一: 精神保健医療福祉の将来に向けて. Medical Tribune 42(9): pp59, 2009.
- 34) 田引俊和, 大谷京子, 上原久, 野中猛: 「障害者自立支援法に関する意識分析」福祉研究, No.97, 2007, p52-58
- 35) 木全和巳, 高山京子, 長谷川忍: 「相談支援体制に関する地域調査—愛知県知多圏域(5市5町)を対象として—」福祉研究, No.99, 2009, p1-21.
- 36) 松原三郎: 「医療観察法」における通院医療と高齢者. 老年精神医学雑誌, 18(5):509-518(2007)
- 37) 松原三郎: 認知症専門病棟における精神科救急医療と高齢者. 老年精神医学雑誌, 18(11):1176-1183(2007)
- 38) 松原三郎: 病棟機能分化からみた精神科救急病棟のあり方. 日精協誌 27(5): 390-395 (2008)
- 39) 松原三郎: 医療観察法における指定通院医療機関の役割と課題. 中谷陽二(編)精神科医療と法, 145-158(2008)
- 40) 松原三郎: 医療観察法の地域サポートと ACT. 臨床精神医学 37(8): 1029-1036 (2008)
- 41) 山下俊幸: 自立支援医療制度(精神通院医療)の現状と課題—精神保健福祉法第32条から障害者自立支援法第58条へ—. 精神障害とリハビリテーション, 11巻2号, 142-147, 2007.
- 42) 築島健: 自立支援医療(精神通院医療). 臨床精神医学, 37巻増刊号, 102-110, 2008
- 43) 新垣元, 杉原克比古, 田口真源, 中本理和, 松原三郎, 村田一郎: 「老人性認知症専門病棟の機能の向上と法律的運用ならびに地域との連携の促進のあり方に関する研究」 「スイス・ドイツにおける認知症高齢者医療施設視察」報告書. 日精協誌 27(9):

2. 学会発表

- 1) 竹島正: 精神科デイケアの今日的課題と将来像. 第102回日本精神神経学会総会(シンポジウム), 福岡, 2006.5.11.
- 2) 竹島正: 自立支援が必要な人たちは, どのくらいいるのか—社会的入院と言われている人, 自立支援法の対象となる人, その他で支援が必要な人. メンタルケア協議会, 東京, 2006.7.23.
- 3) 竹島正: (教育講演) 精神科医療はどのように変わるか—精神保健医療福祉の改革ビジョンと障害者自立支援法—. 第26回日本社会精神医学会, 神奈川, 2007.3.23
- 4) 竹島正: (教育講演) 精神科医療はどのように変わるか—精神保健医療福祉の改革ビジョンと障害者自立支援法—. 第26回日本社会精神医学会, 神奈川, 2007. 3. 23.
- 5) Takeshima T: Community Mental Health Development in Japan. WPA International congress, Melbourne, Australia, Nov. 29, 2007.
- 6) Takeshima T: Policy and practice in Community Mental Health in Japan. WPA International congress, Melbourne, Australia, Nov. 29, 2007.
- 7) 竹島正: 精神科病院の機能分化と地域連携. 第51回日本病院・地域精神医学会総会(シンポジウム), 岡山, 2008. 10. 24.
- 8) Tadashi Takeshima, Hisateru Tachimori, Asuka Koyama, Yoichi Naganuma, Tomonori Koyama, Kanae Sawamura: Knowledge and Impressions of People in Local Communities about Mental Disorders. Symposium47: Social Inclusion and Community Care for People with Psychosis. 13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting, Tokyo, Japan, Nov 01, 2008.
- 9) Tadashi Takeshima, Yuko Miyake, Hisateru Tachimori, Asuka Koyama, Yoichi Naganuma, Toshiaki Kono, Yutaro Setoya, Chee Ng, Takehiko Kikkawa, Makiko Kaga: Developing Community Mental Health—The Role of the National Institute of Mental Health and Researchers. Symposium52: Community Mental Health in Japan: What Can We Learn from Best Practice Models? 13th Pacific Rim College of Psychiatrists Scientific Meeting, Tokyo, Japan, Nov 02, 2008.
- 10) 二本柳覚, 吉田みゆき, 田引俊和, 野中猛「精神保健福祉手帳の取得と利用に関する地域間格差の実態研究」2008, 報告要旨集 p317, 日本社会福祉学会 第56回全国大会(岡山県立大学)
- 11) 精神保健福祉法入院における認知症・知的障害患者等の同意能力に関する研究報告, 全国精神医療審査会連絡協議会, 2008.10.4, 京都
- 12) 二本柳覚, 大谷京子, 田引俊和, 野中猛「障害者自立支援法における総合的な自立支援システムの利用の実態に

関する調査」, 2007, 報告要旨集 p252,
日本社会福祉学会第 55 回全国大会
(大阪市立大学)

13) 認知症高齢者の入院治療におけるア
ンケート調査報告, 全国精神医療審査
会連絡協議会, 2007.10.27, 金沢

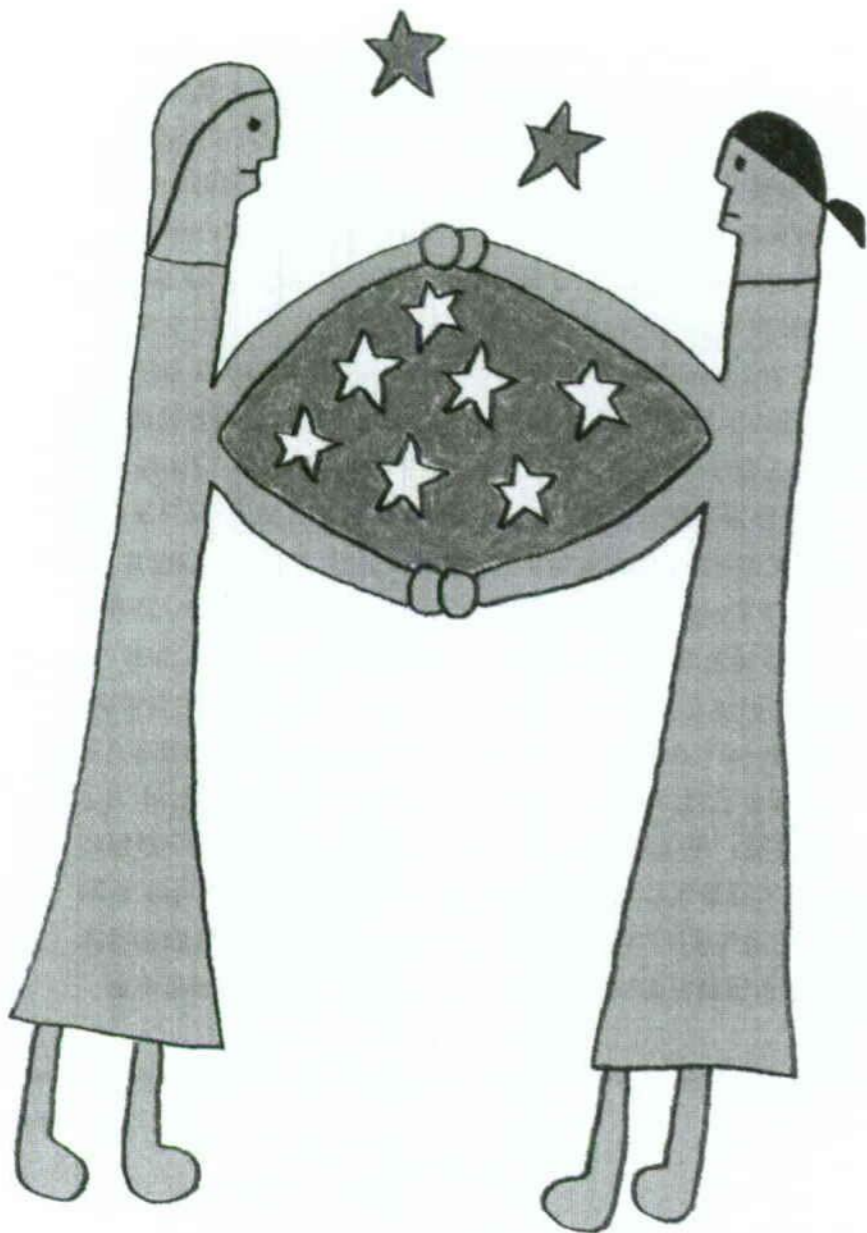
G 知的財産権の出願・登録状況 (予定
を含む。)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)
「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」

目でみる 精神保健医療福祉

3



〈表紙説明〉

イラストは「精神医療福祉の改革ビジョン研究ページ」に掲載されている『こころのバリアフリー宣言ミニポスター』のうち一枚。鉛筆と色鉛筆だけで描かれた織田信生氏のシンプルな原画をデザイン処理した。社会で生きることは多くの人との共同作業である。夢は、それぞれが自分と同じく他の人を認めることによって実現する。

<http://www.ncnp.go.jp/nimh/keikaku/vision/poster.html>

厚生労働省においては、平成16年9月に精神保健福祉対策本部報告書「精神保健医療福祉の改革ビジョン」(以下、「改革ビジョン」)を公表し、「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本的な方策を推し進め、立ち後れた精神保健医療福祉体系の再編と基盤強化を今後10年で進めることとしました。「改革ビジョン」は平成21年9月に中間点を迎えるため、厚生労働省では本年4月に「今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会」(座長:国立精神・神経センター総長 樋口輝彦)を設置し「改革ビジョン」に示された達成目標の第一期(前半5年間)の成果を評価するとともに、来年9月からの第二期(後半5年間)における施策群を検討しています。この検討会は、本年9月に「論点整理」を、また11月に中間まとめを公表しました。

「改革ビジョン」は、国民の必要とする精神保健医療と障害者福祉サービスの実現を目的とするものです。しかしこの改革は、精神保健医療福祉サービスの従事者全体の努力と、社会の理解と支援なしには実現できないものです。そして国民の必要とする精神保健医療と障害者福祉サービスの実現には、わが国の精神保健医療福祉の実態をモニタリングしていくことが必要です。本研究班では、「改革ビジョン」実現のためのモニタリングとして、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課(平成18年からは障害福祉課との連名)が毎年6月30日付で都道府県・指定都市に報告を依頼している調査について、調査票の作成、調査結果の解析および研究成果の有効活用などの研究を行い、その結果を、研究報告書や学術論文に限らず、資料集やホームページに公開してきました。

今回お届けする「目でみる精神保健医療福祉3」には、その平成18年度調査分までのデータを収録しています。平成18年度調査結果は「改革ビジョン」第一期(前半5年間)の施策群の影響がそろそろ表れ始める時期です。その概要は本年度の研究報告書に紹介する予定ですが、この冊子が、精神保健医療福祉体系の再編という国家的な課題の実現に少しでも役立つことを祈念しています。

平成20年度厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)
「精神保健医療福祉の改革ビジョンの成果に関する研究」
研究代表者 竹島 正(国立精神・神経センター精神保健研究所)

* <http://www.ncnp.go.jp/nimh/keikaku/vision/index.html>

利用上の注意

- グラフ中の横軸および表中の「年」の表記にあたって、「目でみる精神保健医療福祉」では調査が実施された年に対応させた記載となっていました。前版の「目でみる精神保健医療福祉2」からその記載方式を改めました。たとえば21ページの「診断別新入院患者数」の表の右から一列目は、2005年6月1カ月間の新入院患者数が32,061人であったことを示しています(調査実施は2006年)。
- 特別な注意書きのない場合のデータソースは精神保健福祉資料(630調査)です。
- グラフ中の表示がない部分および表中の空欄は、調査項目に含まれていない、項目区分が変更となった、該当施設が調査当時はまだ存在しない、などの理由によりデータがないことを示しています。
- 本書の作成にあたっては、掲載内容に誤りのないように万全を期しておりますが万一誤りが判明した場合は、「精神保健医療福祉の改革ビジョン研究ページ(<http://www.ncnp.go.jp/nimh/keikaku/vision/index.html>)」にて修正内容を公開いたします。本書のご利用の前に、一度当該ページをご確認いただくことをお勧めいたします。

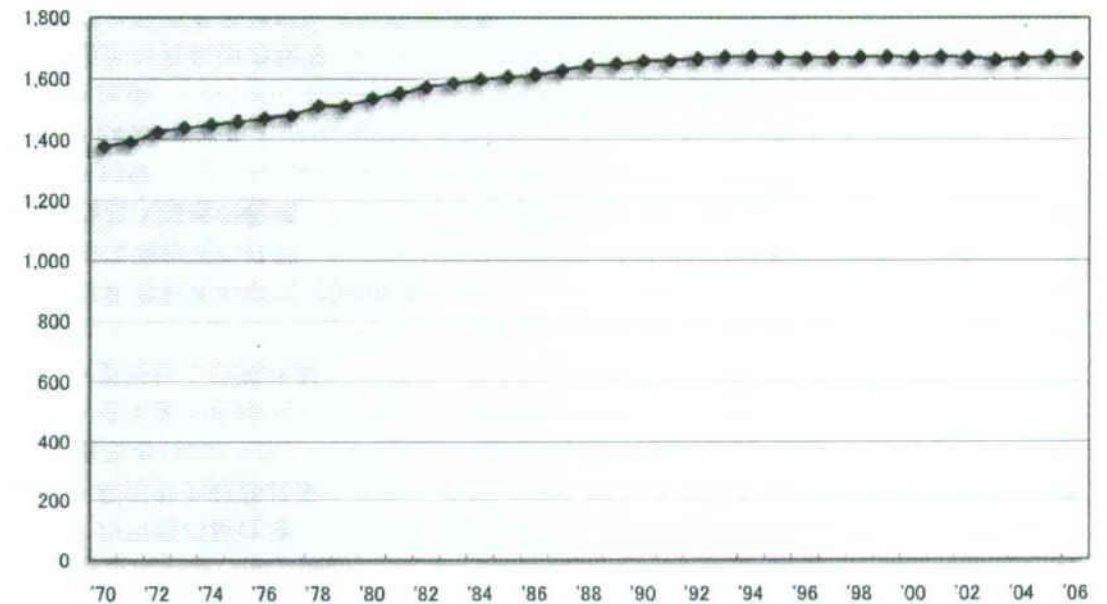
目次

■ はじめに	
■ 精神科病院	1
● 施設の状況	1
● 精神科病院数	1
● 開設者別精神科病院数	2
● 精神病床数	3
● 専門病床の状況	4
● 人口万対精神病床数	6
● 精神科病院における従事者数	7
● 精神科病院における従事者1人あたり患者数	8
● 在院患者	9
● 在院患者数	9
● 入院形態別在院患者数	10
● 年齢別在院患者数	11
● 診断別在院患者数	13
● 在院期間別在院患者数	15
● 外来・訪問看護	16
● 6月外来患者数、6月訪問看護実施件数	16
● 入院／外来率	17
● 6月新入院患者	18
● 新入院患者数	18
● 入院形態別新入院患者数	19
● 年齢別新入院患者数	20
● 診断別新入院患者数	21
● 6月新入院患者の動態の指標	22
● 残存曲線	22
● 1年後残存率	23
● 1年以内社会復帰率	24
● 50%退院日数	25
● 平均残存率	26
● 6月退院患者	27
● 退院患者数	27
● 年齢別退院患者数	28
● 診断別退院患者数	29
● 6月退院患者の動態の指標	30
● (在院期間が1年以上の在院者の)退院率	30
■ 精神科デイ・ケア等	31
● デイ・ケア等実施施設数	31
● デイ・ケア等利用者数	32
● 延べ利用者数	32
● 実利用者数	33
● デイ・ケア等利用者の属性(2006年)	34
● 居住地	34
● 疾患	35
● 性、年齢	36
■ 精神科診療所	37
● 精神科診療所数	37
● 精神科診療所における従事者数	38
● 主たる病名別6月30日受診者数	39
● 6月受診者数、6月往診件数、6月訪問看護実施件数	40
■ 精神障害者社会復帰施設等	41
● 施設種別施設数	41
● 入院施設	41
● 通所施設	42
● 地域生活支援センター	43
● 施設種別利用者数	44
● 入院施設	44
● 通所施設	45
● 施設利用者の属性(2006年)	46
● 新規利用者(2005年度)	47
● 利用前の居住地	47
● 利用前の勤務状況	48
● 退所者(2005年度)	49
● 退所後の居住地	49
● 退所後の勤務状況	50
■ 行政	51
● 措置通報等の状況(2005年度)	51
● 措置通報等の件数	52
● 措置入院者の転帰	54
● 23条	54
● 24条	55
● 25条	56
● 通院公費負担の状況	57
● 精神障害者保健福祉手帳交付者数	58
● 社会適応訓練の状況	59

精神科病院

精神科病院

- 施設の状況
- 精神科病院数

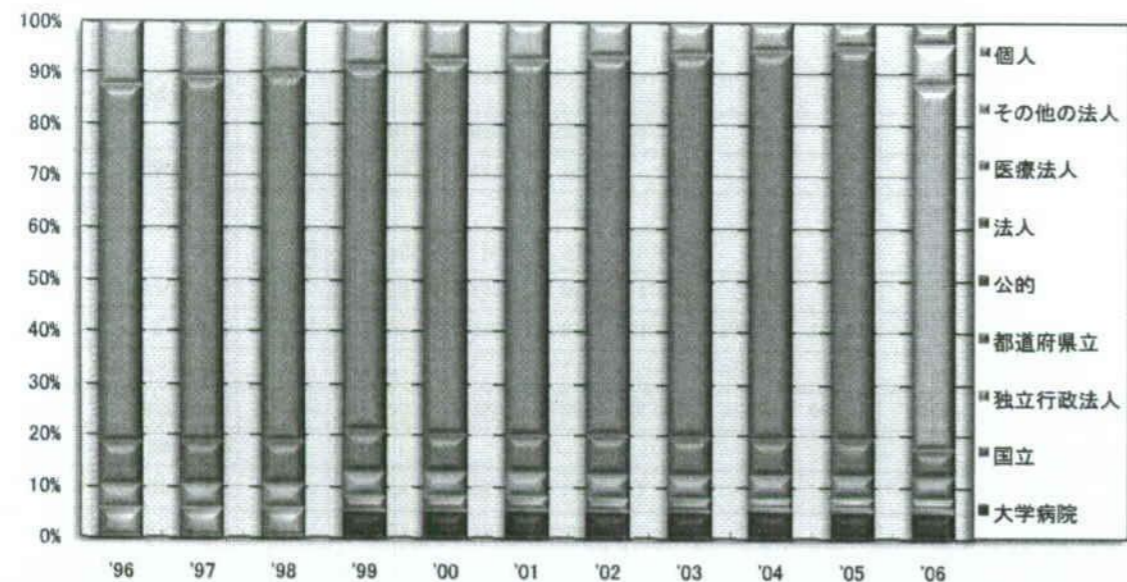


'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77	'78	'79	'80	'81
1,378	1,393	1,426	1,440	1,450	1,460	1,471	1,481	1,511	1,511	1,536	1,553
'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90	'91	'92	'93
1,574	1,586	1,598	1,607	1,613	1,627	1,643	1,648	1,657	1,659	1,665	1,671
'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
1,673	1,670	1,668	1,668	1,671	1,672	1,669	1,672	1,669	1,661	1,664	1,671
'06											
1,668											

'70年～'04年の数値は各年の「医療施設調査・病院報告」(厚生労働省大臣官房統計情報部)から引用した精神病床を有する病院の総数(単科精神病院と精神病床を併設した病院との総数)であり、'70年～'83年は各年12月末現在で調査、'84年～'04年は各年10月1日現在で調査したもの(ただし'74年のみ6月末現在で調査)。「05～'06年の数値は厚生労働省統計表データベースシステム「病院報告」から引用した精神病床を有する病院の総数であり、6月末現在で調査したもの。

■ 精神科病院

- 施設の状況
- 開設者別精神科病院数

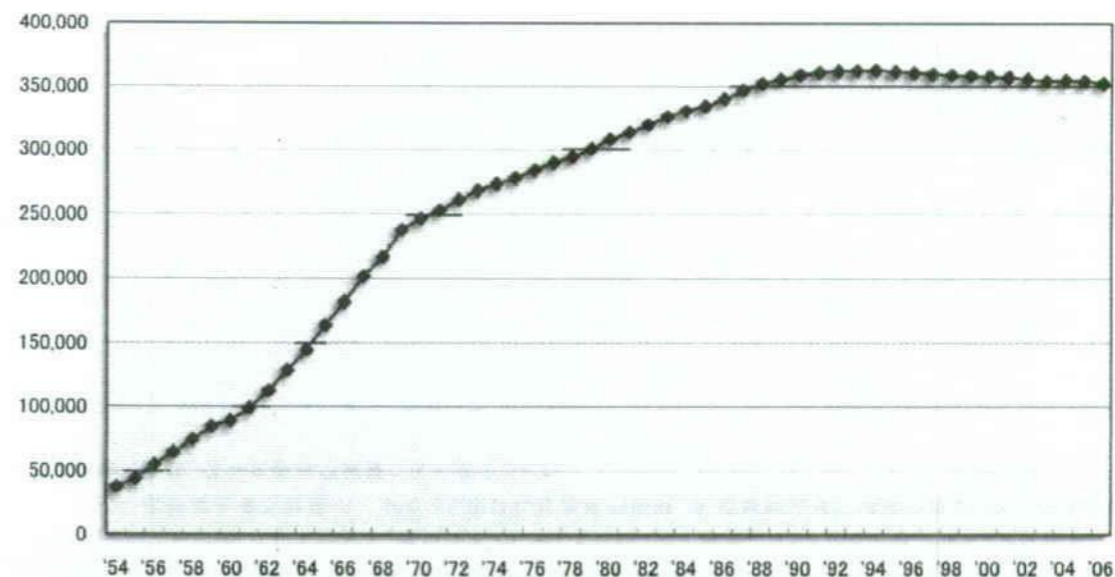


	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06
大学病院				84	84	86	85	85	86	85	82
国立	91	92	93	48	48	46	43	41	10	11	12
独立行政法人									32	34	31
都道府県立	79	80	80	77	78	77	78	77	75	73	71
公的	135	136	134	133	121	118	123	122	114	113	85
法人	1,144	1,167	1,185	1,173	1,208	1,210	1,221	1,231	1,249	1,264	
医療法人											1,161
その他の法人											132
個人	213	188	173	148	127	128	114	106	95	81	71

6月30日現在の開設者別精神科病院数。'99年より大学病院、'04年より独立行政法人の区分を新たに設けた。'06年より法人の区分を廃止し、医療法人、その他の法人の区分を新たに設けた。

■ 精神科病院

- 施設の状況
- 精神病床数



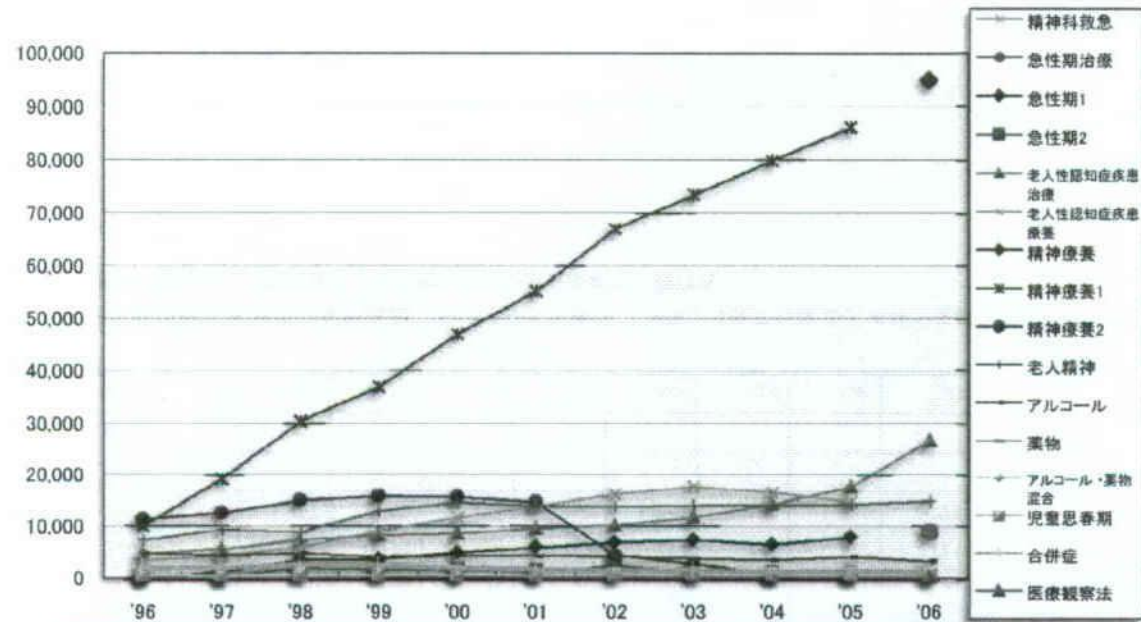
'54	'55	'56	'57	'58	'59	'60	'61	'62	'63	'64	'65
37,849	44,250	54,866	64,725	74,460	84,971	89,314	99,343	112,748	128,849	144,892	164,027
'66	'67	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77
181,759	201,808	217,144	238,190	247,265	253,462	261,527	268,669	273,710	278,123	284,146	290,121
'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
294,550	300,818	308,554	314,065	320,068	326,481	331,099	334,589	340,506	347,196	352,504	355,743
'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01
359,087	360,905	361,982	362,436	362,847	361,714	360,896	359,778	359,159	358,449	358,153	357,385
'02	'03	'04	'05	'06							
355,966	354,448	354,927	354,313	352,721							

'54年～'67年の数値は「現代精神医学大系第23巻C 社会精神医学と精神衛生III(別冊):精神衛生統計(吉川武彦、竹内龍雄:中山書店)」から引用、'54～'59年は各年12月末現在で調査、'60年～'67年は各年6月末現在で調査したもの。'68年～'04年の数値は各年の「医療施設調査・病院報告」(厚生労働省大臣官房統計情報部)から引用、'68年～'83年は各年12月末現在で調査、'84年～'04年は各年10月1日現在で調査したもの。'05年以降の数値は厚生労働省統計表データベースシステム「病院報告」から引用、6月末現在で調査したもの。

精神科病院

● 施設の状況

● 専門病床の状況



	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
精神科救急										
急性期治療										
急性期1	216	1,268	3,540	3,674	4,958	5,957	6,871	7,356	6,518	7,881
急性期2	160	544	1,971	1,686	1,583	1,353	2,341	1,528	924	805
老人性認知症疾患 治療	4,734	5,624	7,362	8,293	8,607	9,592	10,215	11,776	14,298	17,554
老人性認知症疾患 療養	3,393	4,348	6,022	9,119	11,766	13,950	16,260	17,690	16,614	14,804
精神療養										
精神療養1	10,088	19,165	30,395	36,855	46,963	55,144	66,911	73,406	79,783	86,097
精神療養2	11,447	12,671	15,017	15,842	15,672	14,708	4,433	2,764	845	1,075
老人精神	7,360	9,393	8,963	13,026	14,732	14,077	13,905	14,167	14,274	14,305
アルコール	4,832	4,375	4,812	4,054	4,332	4,299	4,238	3,815	3,526	4,086
薬物	88	40	72	308	317	238	278	238	142	142
アルコール・薬物 混合				689	878	886	508	928	668	416
児童思春期	666	494	741	817	711	697	712	789	733	755
合併症	2,012	2,081	2,640	2,521	2,013	1,732	1,532	1,625	1,224	1,466
医療観察法										

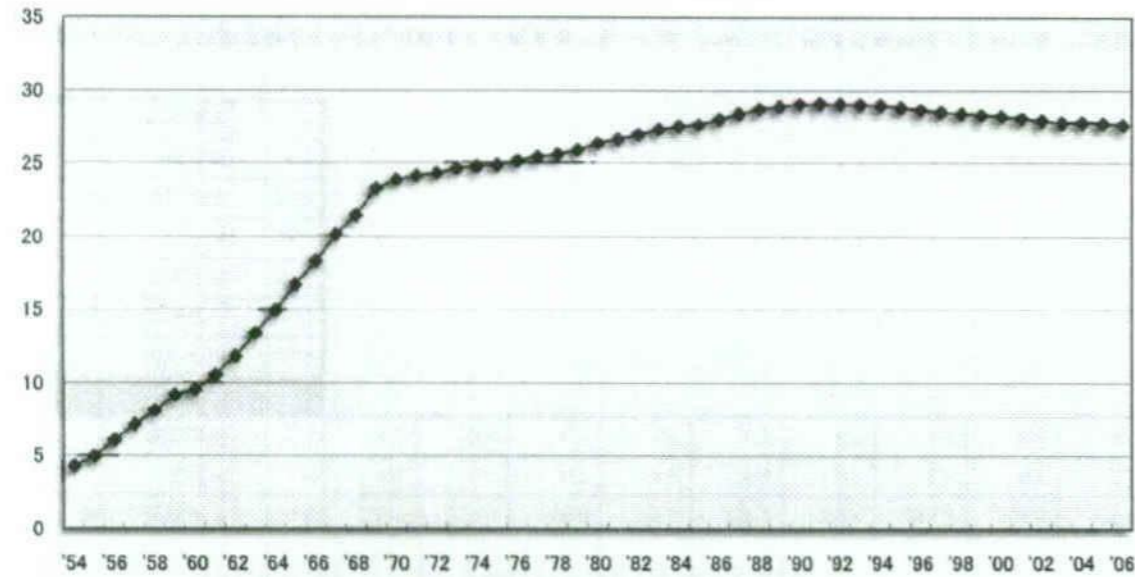
表の続きを次ページに掲載

	'06
精神科救急	1,989
急性期治療	9,013
急性期1	
急性期2	
老人性認知症疾患 治療	26,646
老人性認知症疾患 療養	
精神療養	94,871
精神療養1	
精神療養2	
老人精神	14,943
アルコール	3,294
薬物	190
アルコール・薬物 混合	566
児童思春期	788
合併症	1,256
医療観察法	190

6月30日現在の全国の専門病床数。専門病床の定義は以下のとおりである。急性期、老人性認知症疾患、精神療養：入院料等の届出のあるもの、老人精神は在院患者のおおむね60%以上が65歳以上の高齢者であって「老人性認知症疾患専門病棟」に属さないもの。アルコール：在院患者のおおむね50%以上が「アルコール使用による精神及び行動の障害」であるもの。薬物：在院患者のおおむね50%以上が「アルコール以外の精神作用物質による精神及び行動の障害」であるもの。アルコール・薬物混合：在院患者のおおむね50%以上が「アルコール」または「アルコール以外の精神作用物質」で、それぞれ単独では50%に満たないもの。児童思春期：在院患者のおおむね50%以上が20歳未満であるもの。合併症：結核・感染症などを合併している患者を、他の患者と区分して収容できる構造になっているもの。'99年より調査票においてアルコール・薬物混合専門病棟が、'06年より精神科救急専門病棟、医療観察法専門病棟が追加され、'06年より急性期治療専門病棟、精神療養専門病棟に区分変更された。

■ 精神科病院

- 施設の状況
- 人口万対精神病床数

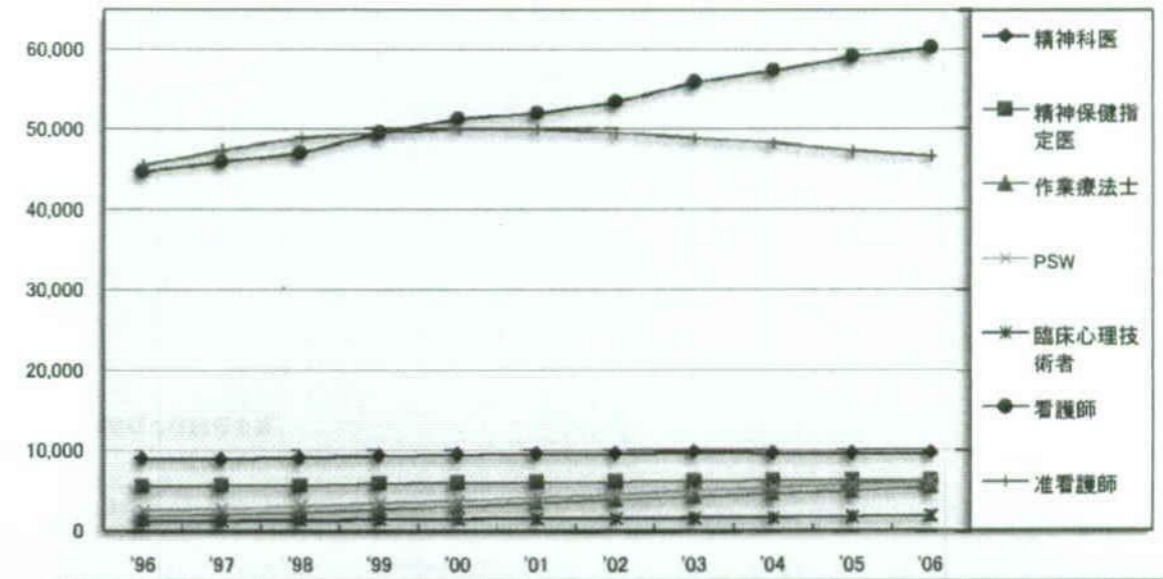


'54	'55	'56	'57	'58	'59	'60	'61	'62	'63	'64	'65
4.29	4.96	6.08	7.12	8.11	9.17	9.56	10.54	11.85	13.40	14.91	16.69
'66	'67	'68	'69	'70	'71	'72	'73	'74	'75	'76	'77
18.35	20.14	21.43	23.23	23.84	24.11	24.31	24.63	24.75	24.85	25.12	25.41
'78	'79	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
25.57	25.90	26.36	26.64	26.96	27.31	27.52	27.64	27.99	28.40	28.72	28.87
'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01
29.05	29.08	29.06	29.01	28.97	28.81	28.67	28.52	28.40	28.30	28.22	28.08
'02	'03	'04	'05	'06							
27.93	27.77	27.80	27.73	27.61							

6月30日現在の人口1万人あたりの精神病床数

■ 精神科病院

- 施設の状況
- 精神科病院における従事者数



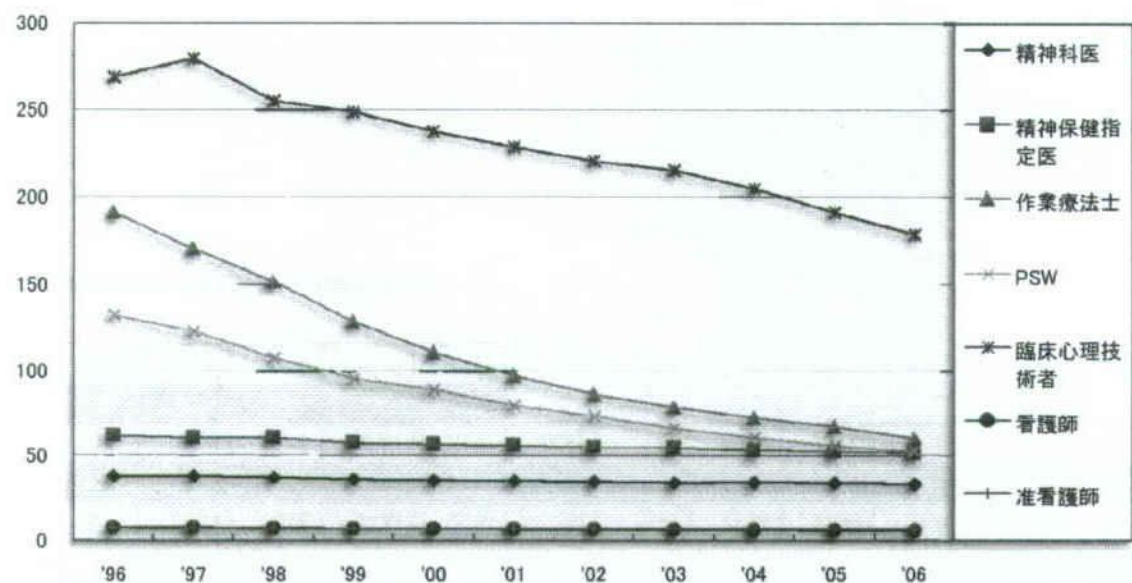
	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06
精神科医	8,956	8,874	9,072	9,277	9,406	9,496	9,527	9,733	9,577	9,566	
精神保健指定医	5,507	5,585	5,578	5,841	5,907	5,997	6,044	6,077	6,190	6,220	
作業療法士	1,773	1,978	2,219	2,600	3,018	3,437	3,832	4,180	4,517	4,841	
PSW	2,564	2,746	3,129	3,497	3,743	4,171	4,503	4,990	5,396	5,844	
臨床心理技術者	1,260	1,204	1,317	1,339	1,402	1,455	1,496	1,529	1,594	1,698	
看護師	44,618	45,924	46,976	49,541	51,249	51,970	53,378	55,882	57,374	59,137	
准看護師	45,518	47,358	48,923	49,537	50,062	50,024	49,554	48,904	48,275	47,288	
		'06									
精神科医		9,635									
精神保健指定医		6,244									
作業療法士		5,361									
PSW		6,141									
臨床心理技術者		1,793									
看護師		60,225									
准看護師		46,676									

6月30日現在の常勤職員数。PSWとは、精神保健福祉法38条に基づく業務に専従する者を指し、精神保健福祉士の資格を持つものを含める。

精神科病院

施設の状況

精神科病院における従事者1人あたり患者数



	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
精神科医	37.8	37.9	37.0	35.9	35.4	35.0	34.6	33.8	34.1	33.9
精神保健指定医	61.5	60.2	60.2	57.0	56.4	55.5	54.6	54.2	52.7	52.1
作業療法士	191.0	170.1	151.4	128.1	110.3	96.8	86.1	78.7	72.2	67.0
PSW	132.1	122.5	107.3	95.2	89.0	79.8	73.3	66.0	60.4	55.5
臨床心理技術者	268.8	279.5	255.0	248.6	237.5	228.7	220.6	215.2	204.6	191.0
看護師	7.6	7.3	7.1	6.7	6.5	6.4	6.2	5.9	5.7	5.5
准看護師	7.4	7.1	6.9	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.8	6.9

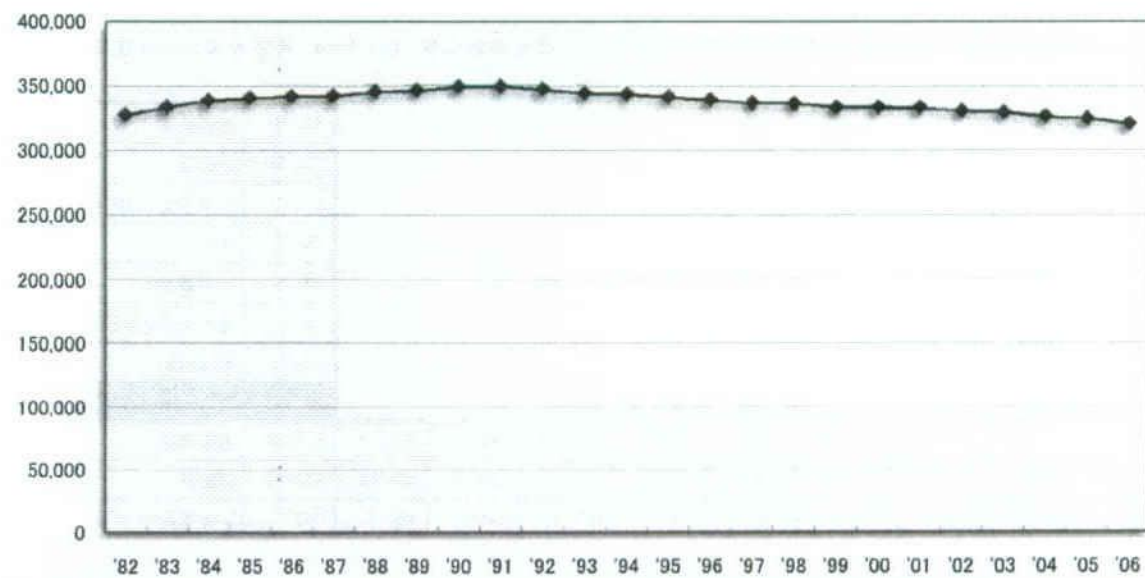
	'06
精神科医	33.2
精神保健指定医	51.3
作業療法士	59.7
PSW	52.2
臨床心理技術者	178.6
看護師	5.3
准看護師	6.9

6月30日現在の在院患者数をそれぞれの職種の従業者数で割った値。PSWとは、精神保健福祉法38条に基づく業務に専従する者を指し、精神保健福祉士の資格を持つものを含める。

精神科病院

在院患者

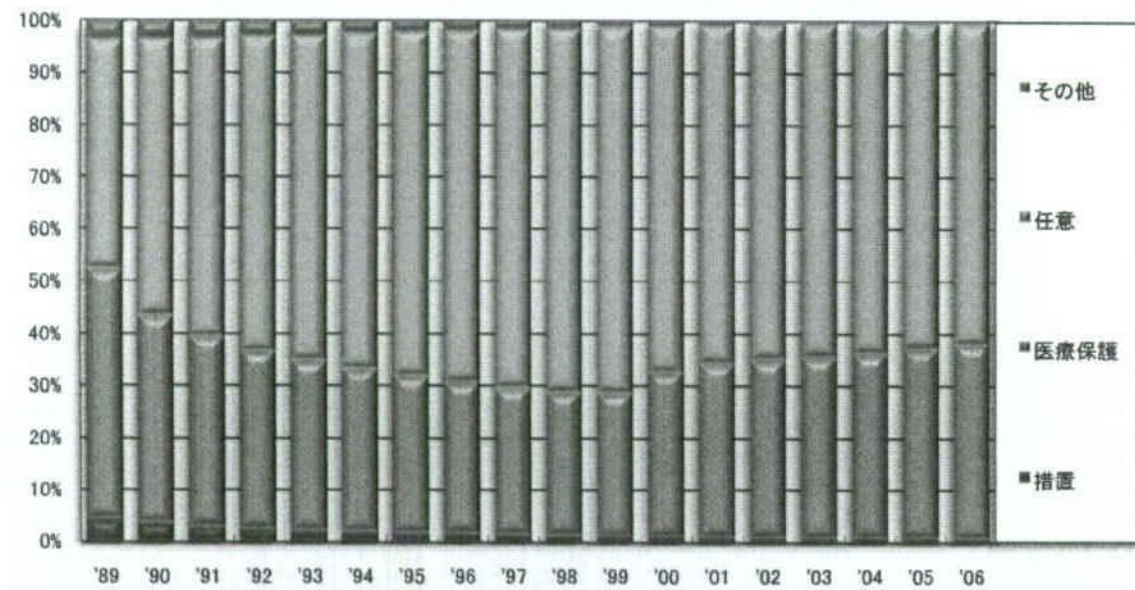
在院患者数



'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90	'91	'92	'93
327,149	333,235	338,225	340,112	341,320	341,917	345,145	346,398	349,010	349,190	346,930	343,926
'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
343,126	341,041	338,714	336,475	335,847	332,930	333,003	332,714	330,050	329,096	326,125	324,335
'06	320,308										

6月30日現在の在院患者数

精神科病院
 ● 在院患者
 ● 入院形態別在院患者数

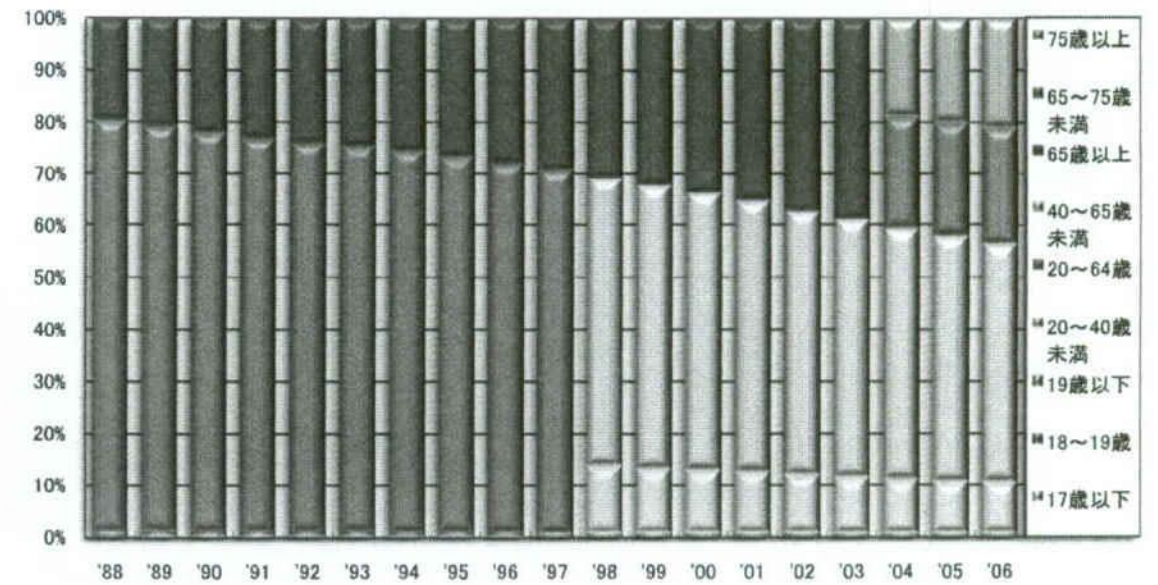


	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98
措置	15,042	12,566	10,007	8,446	7,223	6,408	5,854	5,394	4,772	4,293
医療保護	165,685	139,123	127,577	118,402	112,230	107,362	102,549	98,528	94,827	92,367
任意	152,536	184,503	199,188	209,037	213,974	220,569	224,857	227,800	230,983	233,861
その他	13,137	12,818	12,418	11,045	10,499	8,787	7,781	6,992	5,893	5,326
在院患者数(計)	346,400	349,010	349,190	346,930	343,926	343,126	341,041	338,714	336,475	335,847

	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06
措置	3,472	3,247	3,083	2,767	2,566	2,414	2,276	2,061
医療保護	91,699	105,359	110,930	112,661	114,145	115,297	118,069	119,138
任意	233,509	220,840	215,438	212,015	209,924	206,209	202,231	197,212
その他	4,250	3,557	3,263	2,607	2,461	2,205	1,759	1,897
在院患者数(計)	332,930	333,003	332,714	330,050	329,096	326,125	324,335	320,308

6月30日現在の入院形態別在院患者数

精神科病院
 ● 在院患者
 ● 年齢別在院患者数



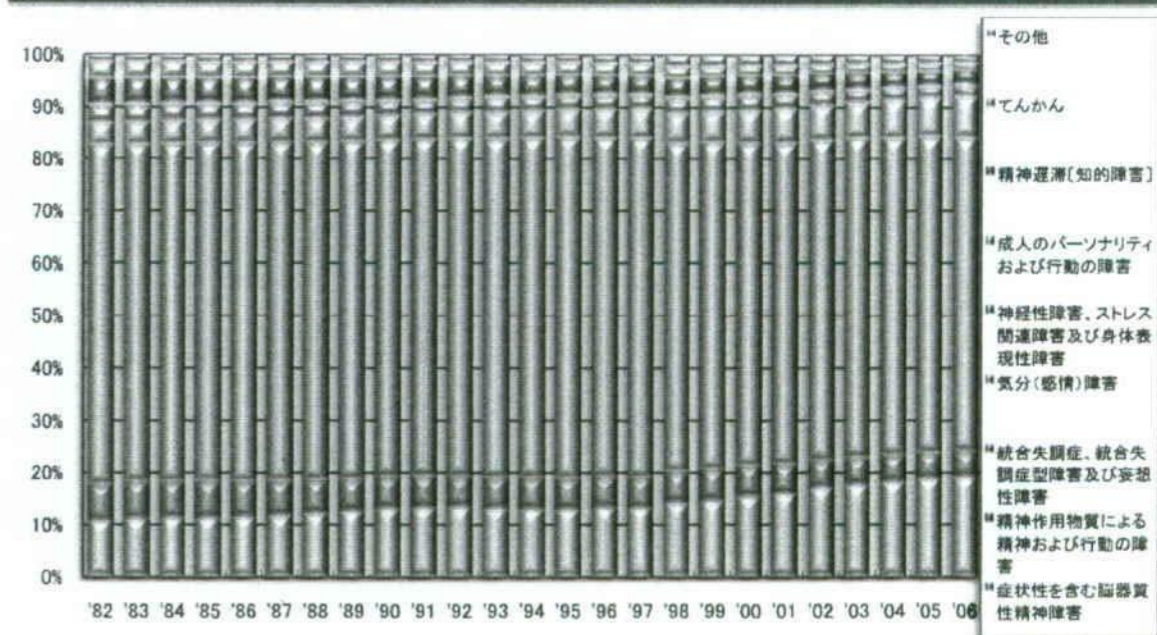
表は次ページに掲載

	'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97
17歳以下		1,717	1,665	1,547	1,439	1,348	1,293	1,317	1,226	
18～19歳		2,588	2,041	1,974	2,167	2,237	1,771	1,693	1,829	
19歳以下	3,545									2,507
20～40歳未満										
20～64歳	274,066	270,135	268,384	264,829	259,944	255,305	252,140	246,856	240,714	235,188
40～65歳未満										
65歳以上	67,534	71,958	76,920	80,840	83,380	85,036	87,922	91,175	94,945	98,780
65～75歳未満										
75歳以上										
在院患者数(計)	345,145	346,398	349,101	349,190	346,930	343,926	343,126	341,041	338,714	336,475
	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	
17歳以下										
18～19歳										
19歳以下	2,444	2,284	2,416	2,359	2,233	2,189	2,093	2,126	2,048	
20～40歳未満	43,455	41,362	40,298	39,294	36,971	35,363	33,545	32,290	31,175	
20～64歳										
40～65歳未満	186,186	181,801	178,152	173,985	167,837	163,180	157,800	153,166	147,024	
65歳以上	103,762	107,483	112,137	117,076	123,009	128,364				
65～75歳未満							70,961	71,663	72,531	
75歳以上							61,726	65,090	67,530	
在院患者数(計)	335,847	322,930	333,003	332,714	330,050	329,096	326,125	324,335	320,308	

6月30日現在の年齢別在院患者数。'89年、'98年、'04年に調査票の年齢区分が変更になっている。

精神科病院

- 在院患者
- 診断別在院患者数



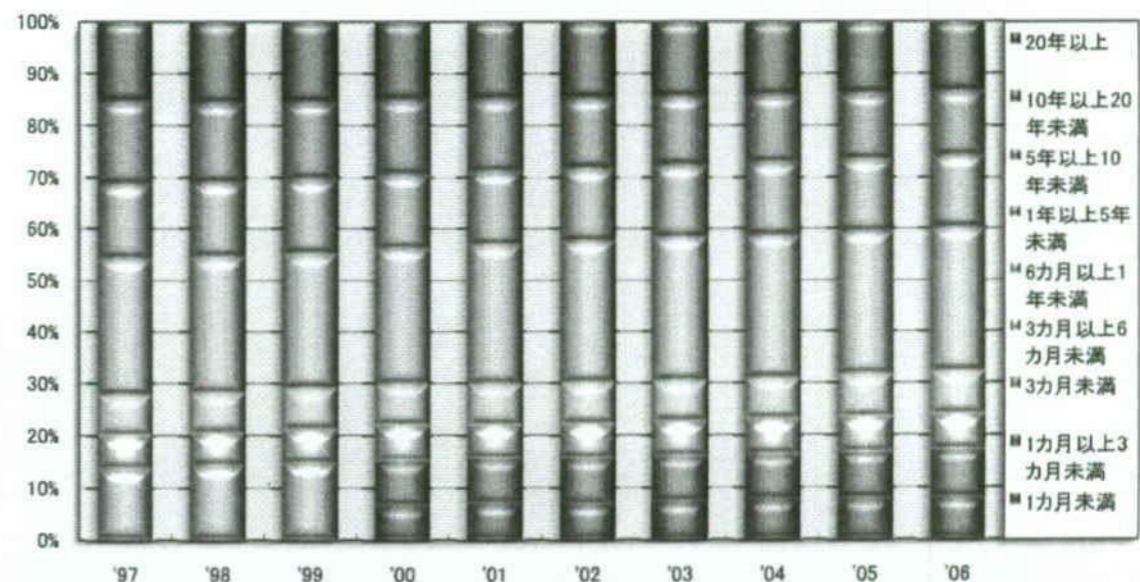
表は次ページに掲載

	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89	'90	'91
症状性を含む器質性精神障害	34,847	37,000	38,182	38,612	39,117	39,902	41,868	43,568	45,708	46,359
精神作用物質による精神および行動の障害	22,685	23,507	23,320	23,345	22,865	22,479	21,796	20,794	20,457	20,318
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	212,149	214,629	218,318	219,946	220,889	221,412	222,894	223,788	224,997	225,221
気分(感情)障害	14,604	15,090	15,627	15,624	15,880	16,263	16,625	17,077	17,410	17,670
神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	9,997	10,006	9,800	9,900	9,721	9,840	9,710	9,178	8,916	8,493
成人のパーソナリティおよび行動の障害	2,042	2,150	2,132	1,899	2,035	1,936	1,956	2,249	2,123	1,985
精神遅滞(知的障害)	15,249	15,196	15,117	14,847	14,864	14,669	14,661	14,386	14,419	13,911
てんかん	11,171	11,021	11,020	10,912	10,856	10,671	10,664	10,510	10,100	10,019
その他	4,405	4,636	4,709	5,027	5,093	4,725	4,971	4,848	4,850	5,214
在院患者数(計)	327,149	333,235	338,225	340,112	341,320	341,917	345,145	346,398	349,010	349,190
	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01
症状性を含む器質性精神障害	46,432	45,057	44,567	44,122	44,768	44,573	47,505	48,723	50,783	52,388
精神作用物質による精神および行動の障害	19,566	20,071	20,025	19,616	19,551	19,175	19,634	19,580	20,024	19,506
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	224,625	222,772	223,365	223,101	219,848	218,703	211,264	207,958	205,352	204,132
気分(感情)障害	18,005	18,134	18,544	18,694	19,113	19,576	19,857	20,447	21,331	22,265
神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	8,332	9,362	8,514	8,198	7,888	7,735	8,697	8,424	8,477	8,041
成人のパーソナリティおよび行動の障害	1,981	1,654	1,694	1,773	1,833	1,910	2,373	2,262	2,474	2,330
精神遅滞(知的障害)	13,575	12,382	12,140	11,651	11,144	10,896	10,905	11,043	10,504	10,337
てんかん	9,698	9,487	9,121	8,997	8,574	8,332	7,852	7,188	7,105	6,785
その他	4,716	5,007	5,156	4,889	5,639	5,679	7,760	7,305	6,953	6,930
在院患者数(計)	346,930	343,926	343,126	341,041	338,714	336,475	335,847	332,930	333,003	332,714
	'02	'03	'04	'05	'06					
症状性を含む器質性精神障害	55,678	57,729	59,092	60,608	61,027					
精神作用物質による精神および行動の障害	18,047	17,462	16,845	16,492	16,115					
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	202,012	200,935	197,753	196,034	192,329					
気分(感情)障害	22,605	22,962	24,041	24,454	25,335					
神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	7,237	6,811	6,296	5,937	6,026					
成人のパーソナリティおよび行動の障害	2,326	2,332	2,110	2,019	1,917					
精神遅滞(知的障害)	9,658	9,184	8,751	8,333	7,774					
てんかん	6,256	5,856	5,413	5,099	4,741					
その他	6,231	5,825	5,824	5,359	5,044					
在院患者数(計)	330,050	329,096	326,125	324,335	320,308					

6月30日現在の診断別在院患者数。過去の調査では診断分類が異なっていたが、すべてICD-10の「精神および行動の障害」に準拠して再分類した。

精神科病院

- 在院患者
- 在院期間別在院患者数



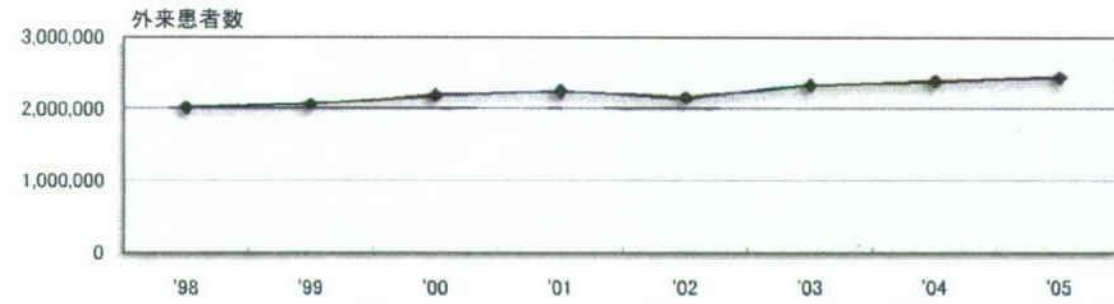
	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06
1カ月未満				21,152	22,523	22,195	23,726	24,554	24,884	25,416
1カ月以上3カ月未満				28,885	28,987	28,970	28,729	28,356	29,144	29,526
3カ月未満	45,367	47,179	48,303							
3カ月以上6カ月未満	21,602	21,330	21,664	22,529	21,170	21,425	21,526	21,537	21,496	21,242
6カ月以上1年未満	25,955	25,767	26,290	26,336	26,108	26,659	25,819	25,765	26,738	26,816
1年以上5年未満	88,582	88,315	86,868	87,778	90,026	90,621	91,789	90,728	89,804	89,006
5年以上10年未満	49,300	48,881	48,202	47,720	47,259	46,346	46,162	46,495	46,056	45,340
10年以上20年未満	53,312	51,554	49,811	48,002	46,864	44,722	43,422	42,227	40,800	39,507
20年以上	51,948	52,821	51,792	50,601	49,777	49,112	47,923	46,463	45,413	43,455
在院患者数(計)	336,475	335,847	322,930	333,003	332,714	330,050	329,096	326,125	324,335	320,308

6月30日現在の在院期間別在院患者数。'00年に調査票の在院期間区分が変更になっている。

■ 精神科病院

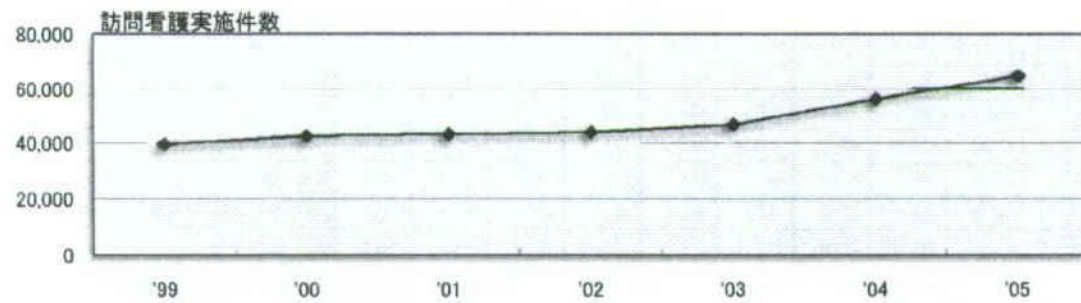
● 外来・訪問看護

● 6月外来患者数、6月訪問看護実施件数



'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
2,016,995	2,065,207	2,188,537	2,244,410	2,155,592	2,332,744	2,385,534	2,440,025

6月1カ月間の延べ外来患者数



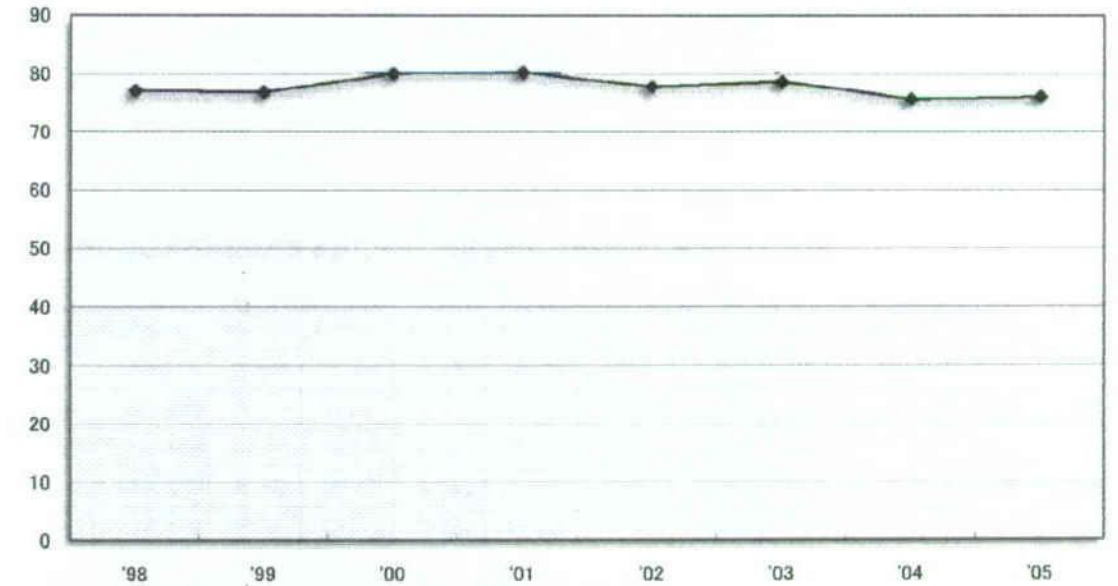
'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
39,611	42,469	43,138	43,964	46,750	56,389	64,798

6月1カ月間の延べ訪問看護実施件数

■ 精神科病院

● 外来・訪問看護

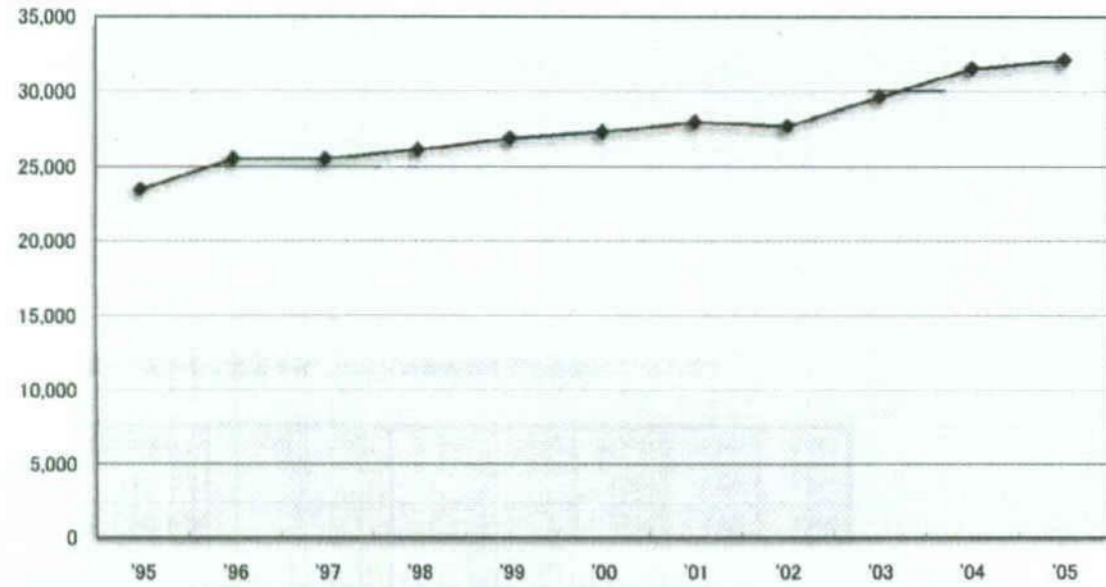
● 入院／外来率



'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
77.1	76.8	80.1	80.3	77.8	78.7	75.7	76.1

6月1カ月間の外来患者数を6月1カ月間の新入院患者数で割った値

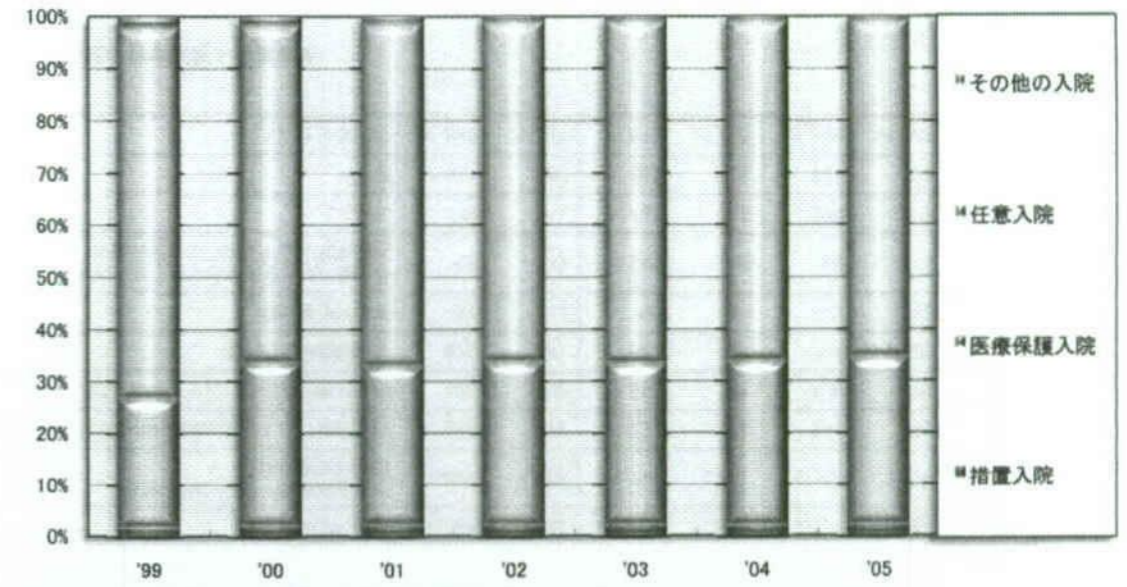
精神科病院
 ● 6月新入院患者
 ● 新入院患者数



'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
23,529	25,567	25,535	26,155	26,889	27,311	27,959	27,692	29,644	31,501	32,061

6月1か月間の新入院患者数

精神科病院
 ● 6月新入院患者
 ● 入院形態別新入院患者数



	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05
措置入院	399	499	562	533	562	569	612
医療保護入院	6,781	8,666	8,636	8,814	9,353	10,123	10,484
任意入院	19,109	17,654	18,327	18,045	19,451	20,501	20,655
その他の入院	600	492	434	300	278	308	310
入院患者数(計)	26,889	27,311	27,959	27,692	29,644	31,501	32,061

6月1か月間の入院形態別新入院患者数